

最新！インスタントラーメンに関する意識調査結果

一般社団法人 日本即席食品工業協会では、インスタントラーメンに関する消費者意識調査を継続して行っています。最新の2014年度の調査結果がまとまりましたのでお伝えします。

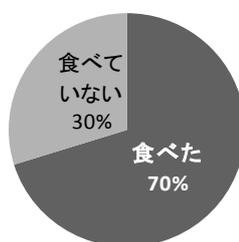
〔調査対象者〕 全国の15～69歳 男女 3,000人 〔調査期間〕 2014年11月16～19日 〔調査方法〕 インターネット調査

1. 【即席めんの摂取状況】

●最近3カ月に食べた人は袋めん70.2%、カップめん76.8%

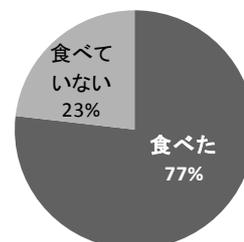
最近3カ月間に即席めんを食べたか聞いたところ、『袋めん』は7割(70.2%、2012年度は75.5%、以下同じ)が、『カップめん』では8割弱(76.8%、同79.3%)が「食べた」と答えており、即席めんが日本の食生活に深く根付いている様子がうかがえます。

■最近3ヶ月間に『袋めん』を食べたか



〈N=3,000〉

■最近3ヶ月間に『カップめん』を食べたか

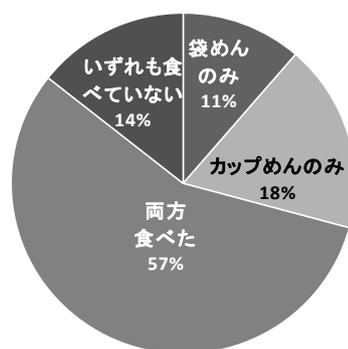


〈N=3,000〉

前回調査のうち『袋めん』が減少(前回75.5%)しているのは、前回調査の前後に各社が袋めんの新商品を出し、それが一時的にブームになったことが考えられます。

●最近1カ月に即席めんを食べた人は85.6%、そのうち袋めん、カップめんの両方食べた人が約6割

1カ月の摂取状況を見ると、即席めんの摂取率(『袋めん』、『カップめん』のいずれか、あるいは両方食べる人の割合)は約9割弱(85.6%)に上ります。そのうち『袋めん』と『カップめん』の両方食べた人が6割弱(56.4%)で、「カップめんのみ」(17.9%)、「袋めんのみ」(11.3%)を大きく上回っています。



〈N=3,000〉

●1カ月に食べる個数は袋めん2.2個、カップめん2.7個

1カ月間に食べる即席めんの個数を聞いたところ、平均すると『袋めん』2.2個、『カップめん』2.7個でした。性別では男性(袋めん2.6個、カップめん3.5個)の方が女性(袋めん1.9個、カップめん1.9個)より多く、男性の『カップめん』の個数(3.5個)が突出しています。

■1カ月間に食べる平均個数(性別)

*数値は「個」

		袋めん	カップめん
全体	(N=3000)	2.2	2.7
性別	男性(n=1502)	2.6	3.5
	女性(n=1498)	1.9	1.9

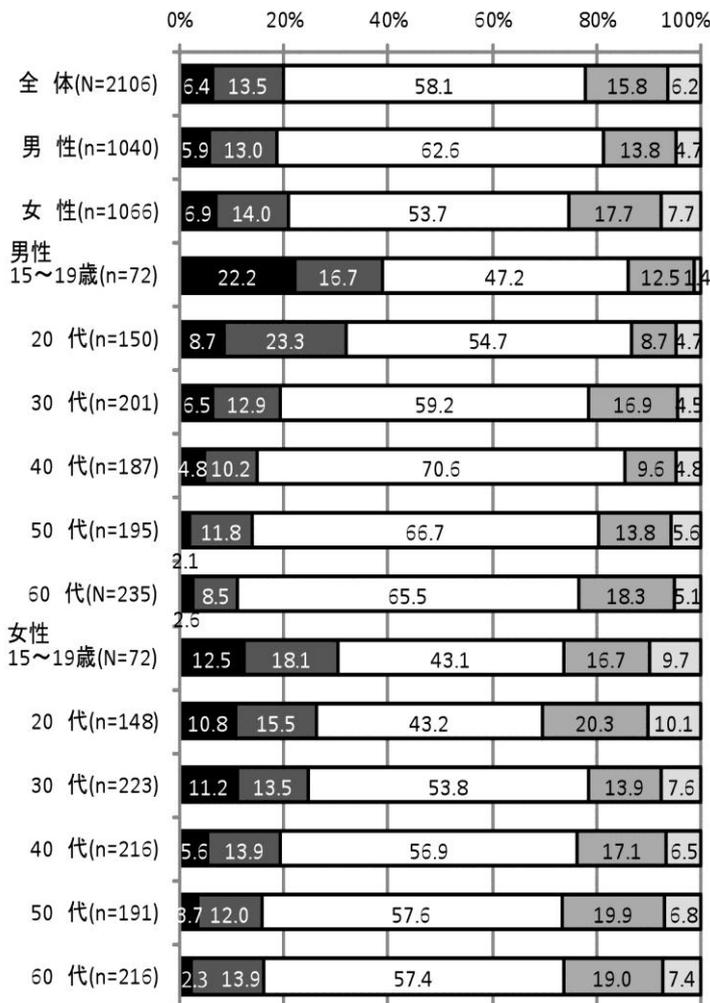
●この1年で若い世代の男女の摂取頻度・量が増加

最近3カ月間の『袋めん』摂取経験者（2106名）と『カップめん』摂取経験者（2305名）のそれぞれに、「昨年と比べて、今年は『袋めん』、『カップめん』を食べる頻度や量は増えたと思うか」と聞いたところ、「変わらない」（袋めん58.1%、カップめん56.4%）という回答が半数以上を占めました。“増えた（増えた+やや増えた）”（同19.9%、20.0%）という人と“減った（やや減った+かなり減った）”（同22.0%、23.6%）という人はいずれも2割から3割にとどまっています。

性・年代別にみると、男女とも男性10代（同38.9%、39.3%）と女性10代（同30.6%、28.6%）で「増えた」が高くなっていて、若者たちの間で即席めんの良さが見直されている様子が見えます。

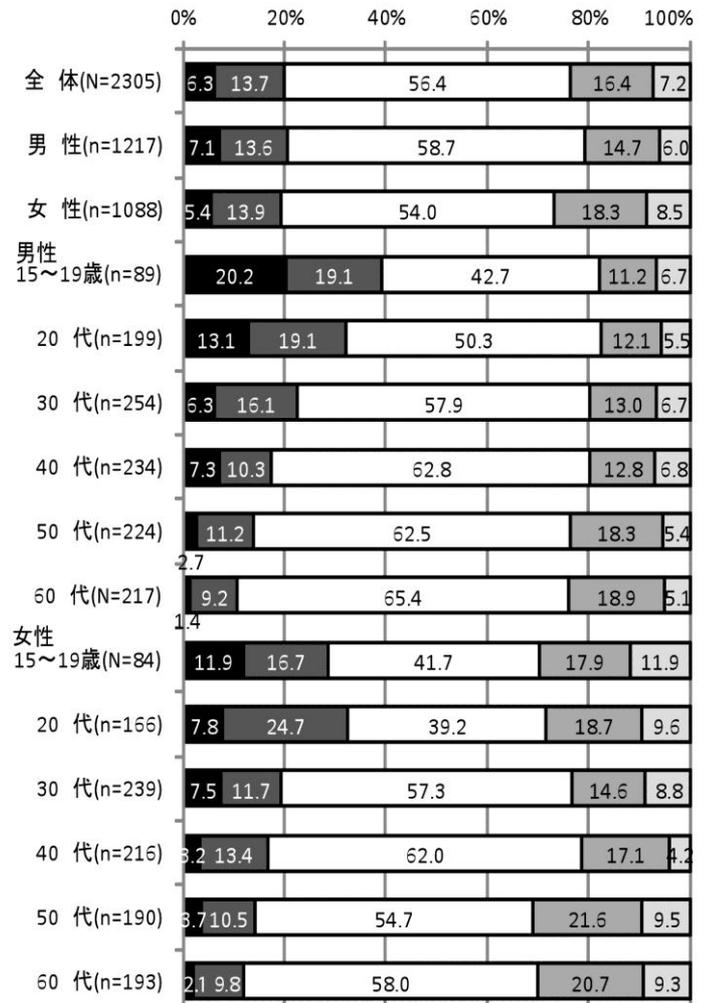
■昨年と比べて今年は「即席めん」を食べる頻度や量が増えたと思うか

袋めんの増減



■増えた ■やや増えた □変わらない ■やや減った □かなり減った

カップめんの増減



■増えた ■やや増えた □変わらない ■やや減った □かなり減った

2. 【即席めんの良さ】

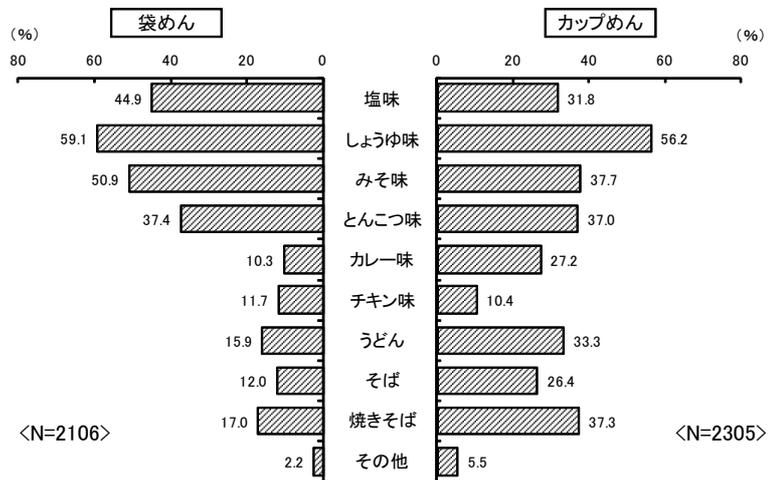
●好きな味は『袋めん』は①しょうゆ ②みそ ③塩 『カップめん』は①しょうゆ ②みそ ③やきそば

最近3カ月間に即席めんを食べたことがあると答えた人に好きな味について聞いたところ、『袋めん』では「しょうゆ味」(59.1%)が最も多く、以下「みそ味」(50.9%)、「塩味」(44.9%)、「とんこつ味」(37.4%)が続いています。

『カップめん』では「しょうゆ味」(56.2%)が最も多く、以下「みそ味」(37.7%)、「焼きそば」(37.3%)、「とんこつ味」(37.0%)、「うどん」(33.3%)、「塩味」(31.8%)の順となり、ラーメン以外の即席めんをあげる人も少なくありません。

なお、全体的に前回調査と大きな違いはありませんでした。

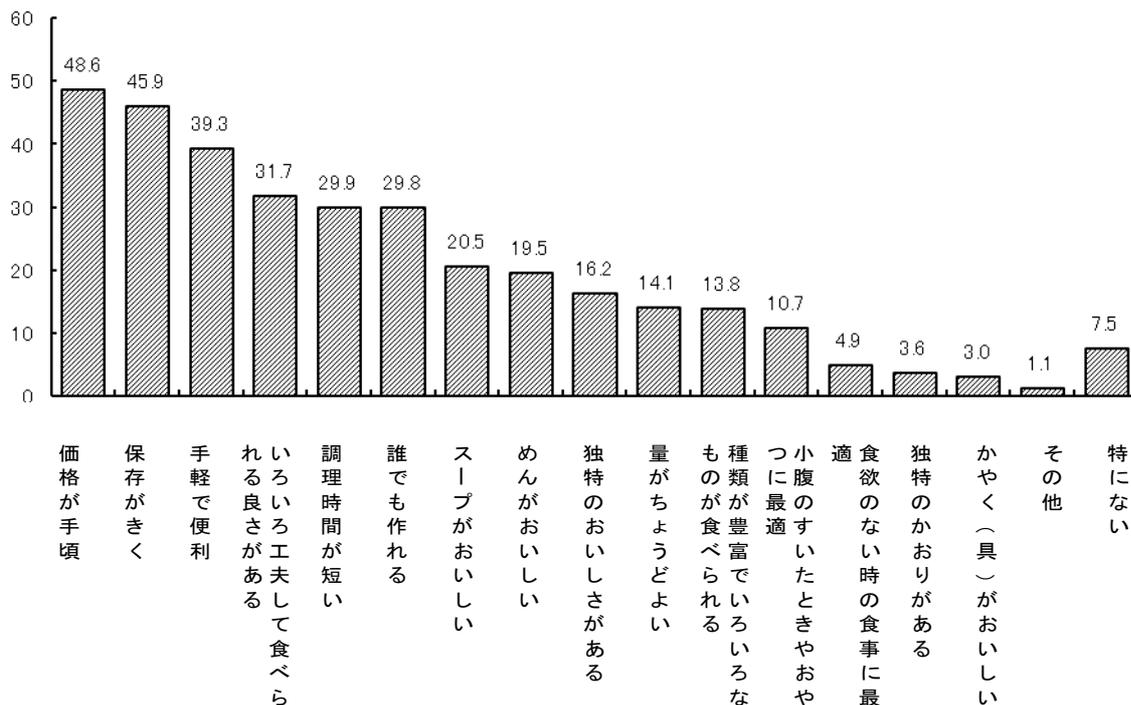
■好きな即席めんの味(複数)



●袋めんの良さは①価格が手頃 ②保存がきく ③手軽で便利、 カップめんの良さは①手軽で便利 ②調理時間が短い ③保存がきく

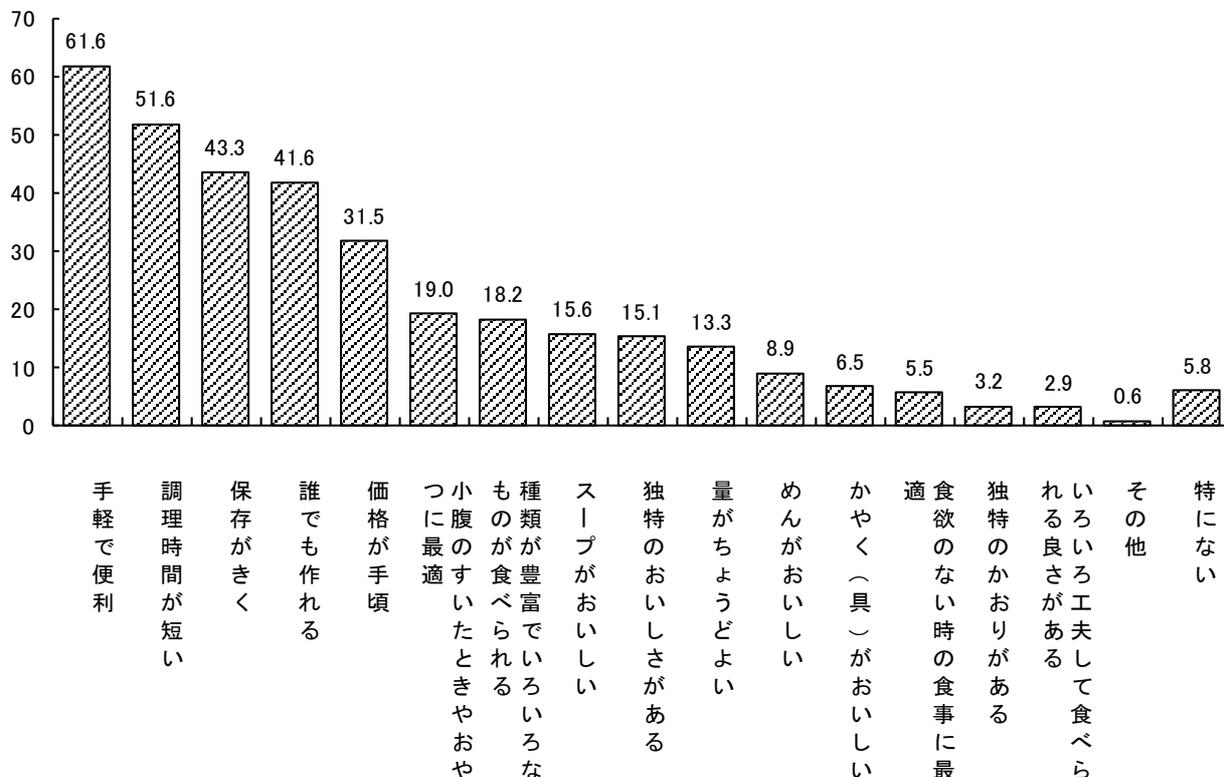
即席めんの良さをどのようなところに感じるかを聞いたところ、『袋めん』では「価格が手頃」(48.6%)が最も多く、次いで「保存がきく」(45.9%)が小差で続いています。以下「手軽で便利」(39.3%)、「いろいろ工夫して食べられる良さがある」(31.7%)、「調理時間が短い」(29.9%)、「誰でも作れる」(29.8%)、「スープがおいしい」(20.5%)の順でした。『袋めん』では「価格」と「保存性」が高く評価されています。

■「袋めん」の良さを感じるどころ(複数回答)



次に、『カップめん』の良さを聞いたところ、「手軽で便利」が61.6%で最も多く、次いで「調理時間が短い」が5割台（51.6%）で続きます。『袋めん』に比べて“簡便性”が高く評価されています。以下「保存がきく」（43.3%）、「誰でも作れる」（41.6%）、「価格が手頃」（31.5%）、「小腹のすいたときやおやつに最適」（19.0%）の順でした。

■「カップめん」の良さを感じるどころ（複数回答）



●即席めんの賞味期限延長への認識

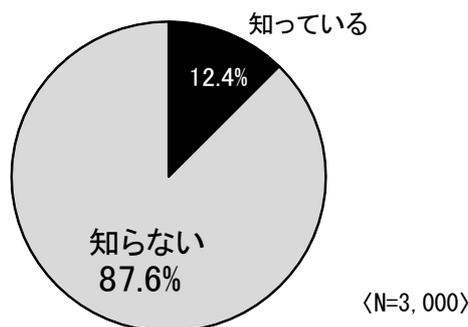
昨年、日本即席食品工業協会のガイドラインにより、即席めんの賞味期限が延長され、袋めんは製造日から8ヵ月（2ヵ月の延長）、カップめんは同じく6ヵ月（1ヵ月の延長）となりました。これは、まだ食べられるのに大量に捨てられる「食品ロス」を減らすためです。

そこで、この賞味期限延長がどのくらい浸透しているか、「2014年4月から、『即席めん（袋めんもしくはカップめん）』の賞味期限が長くなりました。あなたは、このことをご存じですか？」と聞きました。

結果は「知っている」が12.4%、「知らない」が87.6%と、認知度はまだ高くありません。

そうした中、高齢層や月7個以上食べるヘビーユーザーで知っている人が多く、それぞれ18.9%、18.0%となっています。

□ ■賞味期限延長の認知度



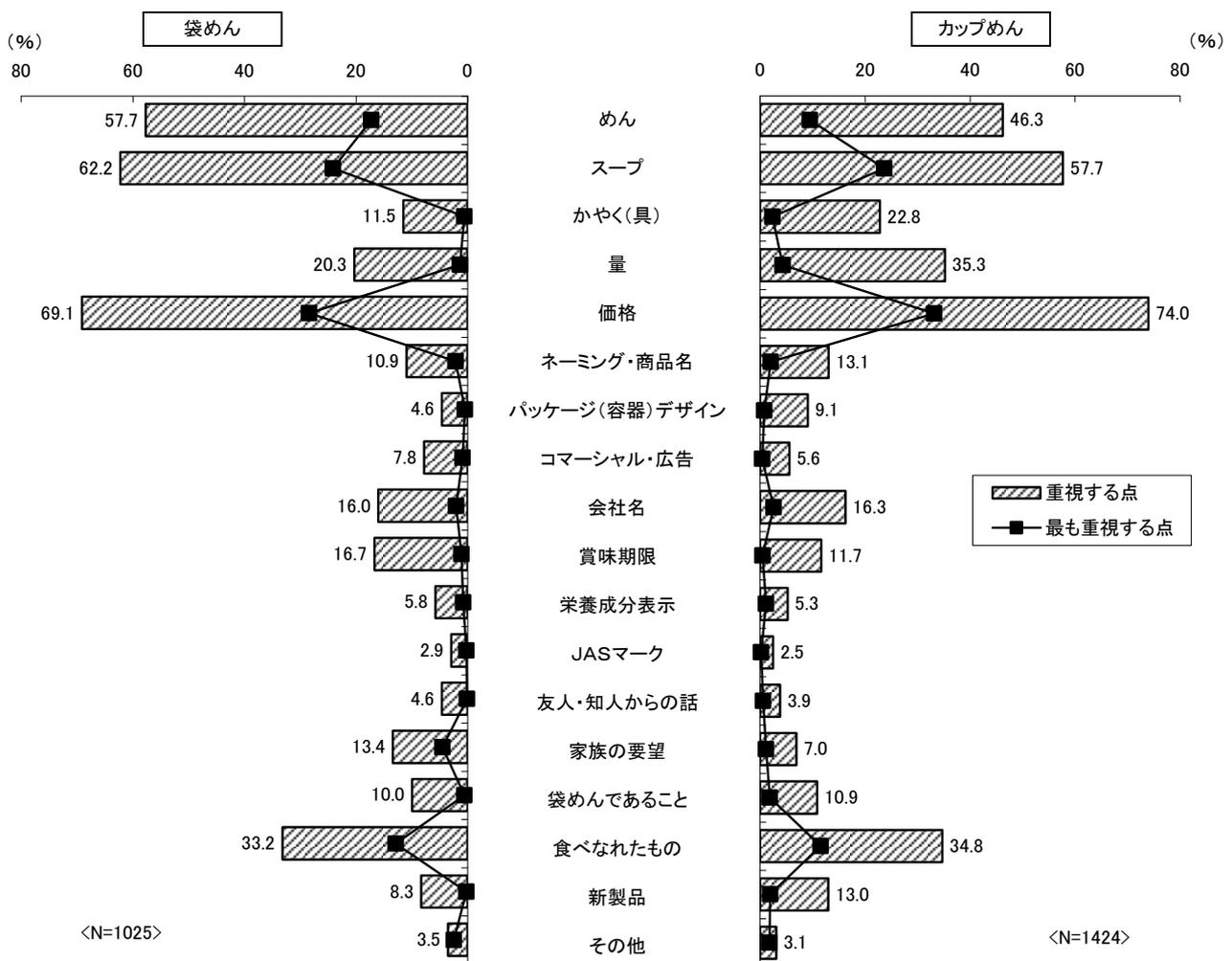
3. 【即席めん購入状況】

● 買う時に重視することは「価格」が断然トップで「スープ」、「めん」が続く

「主に袋めんを購入する」と回答した人（1025名）と「主にカップめんを購入する」と回答した人（1424名）のそれぞれに、買う時に重視する点を複数回答で答えてもらったところ、『袋めん』『カップめん』ともに「価格」（袋めん 69.1%、カップめん 74.0%）が断然のトップでした。以下「スープ」（同 62.2%、57.7%）、「めん」（同 55.7%、46.3%）が続きます。

その中で「最も重視すること」を聞いたところ、「価格」（同 28.4%、33.2%）、「スープ」（同 24.1%、23.7%）、「めん」（同 17.3%、9.5%）、「食べなれたもの」（同 12.9%、11.6%）となり、「価格」「スープ」が重要視されているようです。

■ 「即席めん」を買うときに重視する点



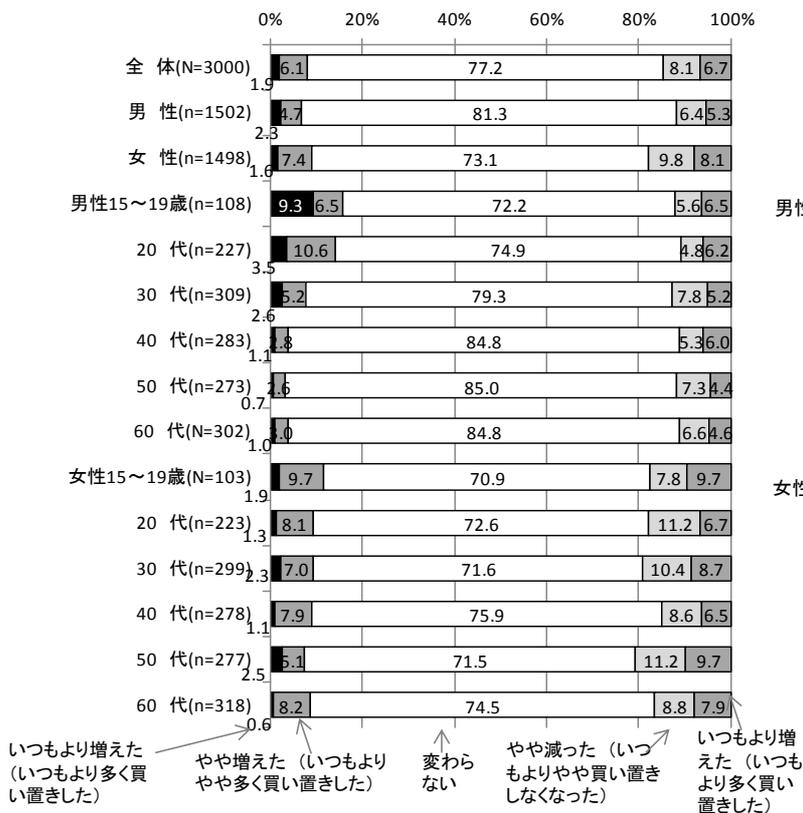
●消費増税前の買い置きについて「増やした」とした人は少数派 4人に3人が「変わらなかった」

昨年4月から消費税率が上がりました。そこで自宅に即席めんの買い置きを増やした、という人は『袋めん』で8.0%、『カップめん』で8.7%でした。なお「変わらない」とした人は76~77%でした。

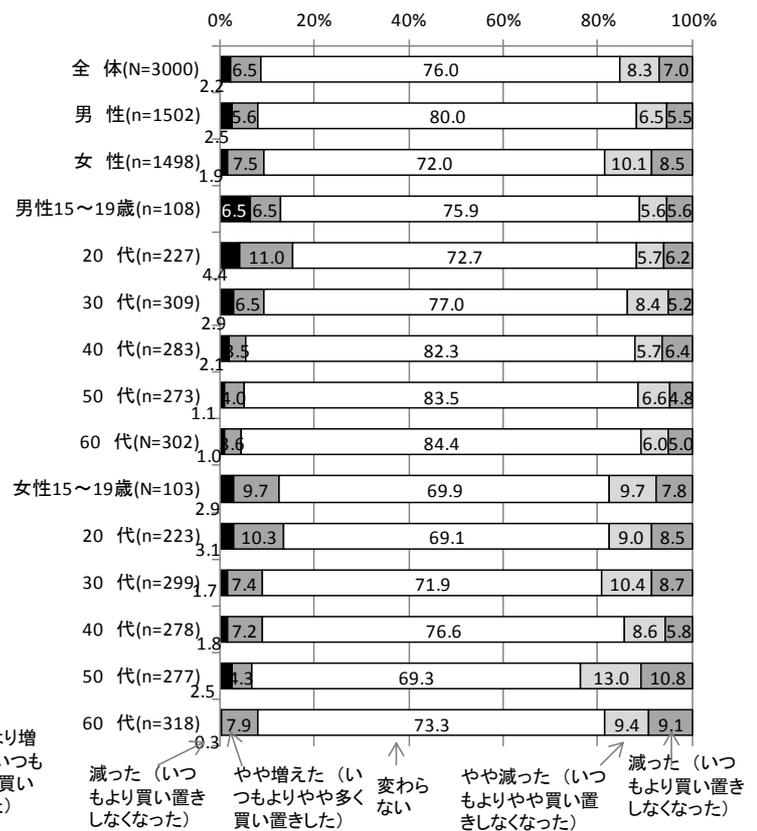
世代別では年齢が低くなるほど「増やした」（いつもより増えた+やや増えた）という人が多くなり、『袋めん』では10代男性が15.8%、20代女性が11.6%、『カップめん』では20代男性が15.4%、20代女性が13.4%となっています。

■自宅で即席めんを買い置きしている量の変化

【袋めん】



【カップめん】



本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人 日本即席食品工業協会
 〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-5-5 キムラビル3階
 担当: 鈴木 電話: 03-3865-0811
 URL <http://www.instantramen.or.jp>
 Eメール daihyo@sokuseki-kyokai.com